

平成 20年7月23日

各 位

会 社 名　　ダイハツディーゼル株式会社
代表者名　　取締役社長　古川 與四郎
 (コード 6023 大証第二部)
問合せ先　　常務取締役　中村　健
 (TEL. 06-6454-2334)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年4月24日の決算発表時に公表した平成21年3月期第2四半期(平成20年4月1日～平成20年9月30日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

平成21年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)
(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	30,000	2,300	2,000	900	28円25銭
今 回 修 正 予 想 (B)	31,000	3,100	3,000	1,800	56円51銭
増 減 額 (B-A)	1,000	800	1,000	900	28円25銭
増 減 率 (%)	3.3	34.8	50.0	100.0	-
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	27,966	2,355	2,017	850	26円70銭

平成21年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成20年9月30日)
(単位:百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	26,000	1,300	1,300	700	21円97銭
今 回 修 正 予 想 (B)	27,000	1,800	1,800	1,100	34円54銭
増 減 額 (B-A)	1,000	500	500	400	12円56銭
増 減 率 (%)	3.8	38.5	38.5	57.1	-
(ご参考) 前期実績(平成20年3月期)	23,093	1,305	1,288	693	21円77銭

修正の理由

当社グループが最も影響を受ける海運・造船業におきましては、原油や鋼材価格の高騰など環境悪化は見られるものの、海上荷動量の増加を背景とした船腹数の逼迫が続いており、造船各社は当面の手持ち工事量を十分に確保しております。

このような状況下で、今後、購入品価格の大幅な上昇が懸念されるではありますが、海外を中心としたサービス事業の拡大や売上高増加に伴う増産効果に加え、生産性の向上やコスト削減に全社を挙げて取り組むことにより、営業利益、経常利益、純利益とも前回予想を上回る見込みとなりました。

尚、通期の業績予想数値に関しましては、現段階では変更しておりません。

※上記予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいた見通しであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって変動する場合があります。

以 上